



北海道大学

国立大学法人北海道大学で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

育成方針

国立大学法人北海道大学（以下「本学」という。）は、我が国の優れた若手研究者である日本学術振興会特別研究員-PD、RPD、CPD（以下「PD等」という。）を独立行政法人日本学術振興会が実施する「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」により雇用し、本学が掲げる「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という教育・研究の4つの基本理念のもと、北海道の広大なフィールドと研究主導型の基幹総合大学としての強みや特色を活かして、学術研究の未来をけん引する卓越した人材の育成を目指す。

育成にかかる取組

1. 安定した研究環境と将来を見据えたキャリアの提供

- ・ 研究員として雇用し、不安定な身分を解消して福利厚生を充実させると共に、自身の研究に専念できる研究環境を提供する。
- ・ 将来的に大学教員を目指すPD等のうち、希望する者に対して審査を実施し、合格した者には採用期間中に特任助教の身分を付与する。

2. 大学教員育成プログラム・リスキリングの提供

- ・ 本学が若手教員向けに展開する「教員育成プログラム」を受講可能にし、大学教員に必要な基本的知識やスキル、本学固有の方針やリソースの理解と効果的な活用方法、置かれた環境による経験機会の損失を防ぎ、大学教員としての一定の経験値を確保するOn-The-Jobトレーニング等を提供する。

3. 研究推進及び若手教員との研究交流機会の提供

- ・ 本学独自の若手研究者支援事業や外部資金獲得支援事業への応募資格の提供、学内共同設備の利用支援等によりPD等の研究推進の機会を提供する。
- ・ PD等の知見やネットワーク拡大等のため、本学の幅広い分野の若手教員との研究交流や情報交換のコミュニティ形成の機会を提供する。

4. 女性研究者に対する研究活動支援

- ・ 本学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部が実施する各種プログラム等（研究会等開催支援、ビジュアル作成コンサルティング支援、メンタリング・シャドウイング研修、リーダー育成セミナー、研究活動とライフイベント／女性リーダー活躍の両立のための補助人材支援）を活用した様々な研究活動支援を行う。